



図-80 河岸段丘のようす（南会津郡下郷町）

県内には、このような地形が、あちこちで見られ見られます。

特に、会津地方の大川ライン（図-80）や、福島市の飯坂を流れる摺上川付近（図-79）を例にあげてみました。

飯坂の図を、前にのべた段丘のできかたをもとに考えてみますと、まず図の右上の140 m以上のところが一番古い地層だということになります。そして一番下の方の地層（図の中央下がわ）が、もっとも新しくできあがったということになるわけです。

段丘ができる土地の動きは、平均して1年に0.1 mmぐらいだろうといわれています。

このような目で、川や海の付近の地形をよく見て、それらの関係についてよく考えてみましょう。

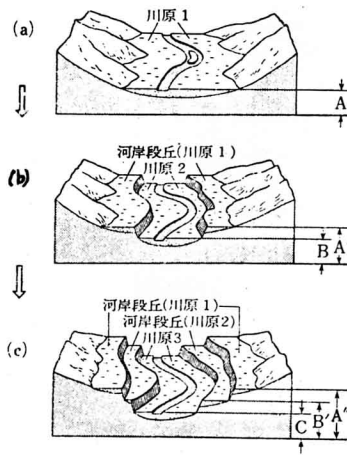


図-81 河岸段丘のでき方